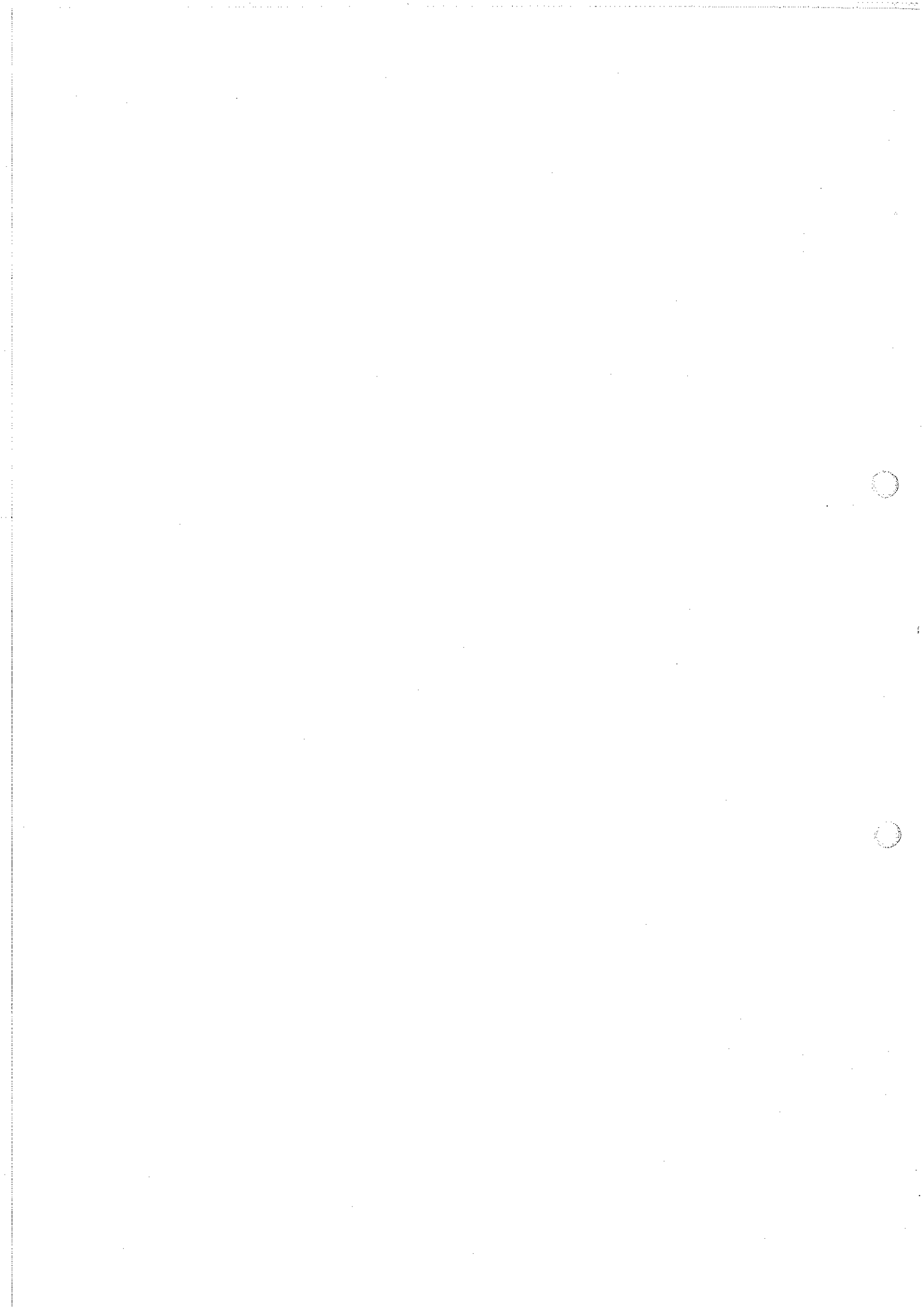


自主防災組織 活動事例集

平成12年12月

兵庫県企画管理部防災局消防課
安全・安心コミュニティ推進室



掲 載 組 織 一 覧

1. 東川崎ふれあいのまちづくり協議会防災部会 (神戸市)
2. 浜田自主防災会 (尼崎市)
3. 甲陽園自主防災連合会 (西宮市)
4. 西蔵町自主防災会 (芦屋市)
5. 緑ヶ丘自主防災会 (伊丹市)
6. 良元コミュニティ自主防災会 (宝塚市)
7. あかしあ台自治会自主防災会 (三田市)
8. 伏見台自主防災会 (猪名川町)
9. 花園校区連合協議会 (明石市)
10. 加古川グリーンシティ防災会 (加古川市)
11. 高田井町自主防災会 (西脇市)
12. あかね防災クラブ (三木市)
13. 地徳自主防災会 (高砂市)
14. 青野町自主防災部会 (加西市)
15. 吉川町自主防災組織 (吉川町)
16. 社一区自主防災組織 (社 町)
17. 上滝野地区自主防災組織 (滝野町)
18. 嬉野東自主防災組織 (東条町)
19. 中村町自主防災組織 (中 町)
20. 山口自主防災会 (加美町)
21. 田高自主防災会 (黒田庄町)
22. 国岡自治会防災会 (稲美町)
23. 鹿の川自主防災会 (播磨町)
24. 英賀保地区連合自主防災会 (姫路市)
25. 古池本町自治防災会 (相生市)
26. 塩屋向自衛消防隊 他 (赤穂市)
27. 坊勢地区自主防災会 (家島町)
28. バーズタウン自主防災会 (夢前町)
29. 神崎町自主防災組織 (神崎町)
30. 辻川自主防災会 (福崎町)

- | | |
|---------------------|--------|
| 31. 久畑自主防災組織 | (香寺町) |
| 32. 自主防災おおかわち | (大河内町) |
| 33. 元町自主防災会 | (新宮町) |
| 34. グリーンハイツ自治会自主防災会 | (揖保川町) |
| 35. 栄町自主防災組織 | (御津町) |
| 36. 原池団地自主防災会 | (太子町) |
| 37. 高田台六丁目自治防災会 | (上郡町) |
| 38. 福沢部落自主防災組織 | (佐用町) |
| 39. 狭戸自主防災 | (安富町) |
| 40. 倉床自治会自主防災会 | (一宮町) |
| 41. 原自主防災組織 | (波賀町) |
| 42. 西河内自治会自主防災会 | (千種町) |
| 43. 正法寺防災 | (豊岡市) |
| 44. 竹野浜自治会区自主防災組織連合 | (竹野町) |
| 45. 駅前区防災会 | (香住町) |
| 46. 国分寺区防災会 | (日高町) |
| 47. 旭町区防災隊 | (八鹿町) |
| 48. 養父市場地区自主防災会 | (養父町) |
| 49. 山笠地区自主防災組織 | (大屋町) |
| 50. 円山区防災村づくり推進協議会 | (生野町) |
| 51. 平野地区自主防災会 | (和田山町) |
| 52. 清水町区自主防災会 | (山東町) |
| 53. 岡野防災会 | (篠山市) |
| 54. 東地区自主防災会 | (氷上町) |
| 55. 青垣町自主防災組織 | (青垣町) |
| 56. 柚津区自主防災組織 | (春日町) |
| 57. 谷川1区防災組織 | (山南町) |
| 58. 斗ノ内浜防災会 | (北淡町) |
| 59. 下田自主防災会 | (東浦町) |

市 町 名	神戸市
担当部局名	消防局予防部予防課地域防災支援係 担当者名 中村・谷輪 Tel 078-325-8510
自主防災組織名	東川崎ふれあいのまちづくり協議会防災部会
結成年月日	平成8年3月26日
世帯数	1,200世帯
地域の特性	多くの住宅が建ち並ぶ下町であり、同時に、ハーバーランド周辺の近代的な高層建物が林立し、高速道路が走っている。美しい港町で、神戸でも有数の観光地として知られている。下町情緒があり、自主的な防災、福祉に対する意識は非常に高い。
活動の内容	○防災活動 ・定期的な防災訓練 ・救急講習の受講 ・防災マップづくりと各家庭への配布 ○福祉活動 ・高齢者宅の訪問 ・ふれあい給食会の開催 ・入浴サービスの実施 ○防災ジュニアチーム（地元の中学生で構成）の育成
苦勞・成功のポイント	大人だけでなく、新たな力を導入するため、地区中学生による防災ジュニアチームを結成した。学校、消防署の支援を受け、定期的な防災訓練等に積極的に参加している。ジュニアチームの訓練のときは、大人も一緒に行くが、できるだけ口出しをせず見守るようにしている。
今後の活動目標	今後、ひとり暮らしの高齢者が一層増えていく。さまざまな福祉活動との連携を深め、防災ジュニアチームのほか、さらに幅広い住民の参加を呼びかけ、地域のつながりの大切さを認識し、近隣事業所等とも力を合わせて、明るいまちづくりに取り組んでいきたい。

市 町 名	尼崎市
担 当 部 局 名	消防局警防部予防課予防担当 担当者名 野草 TEL 06-6481-0119
自主防災組織名	浜田自主防災会
結 成 年 月 日	平成11年12月16日
世 帯 数	1,959世帯
地 域 の 特 性	住宅地域の中に工場が点在する住工混在地域である。
活 動 の 内 容	<p>自主防災会規約を制定し、その規約に基づき訓練・研修等を実施し、地域における自主防災の知識の向上、意識の高揚を図り、地域ぐるみの自主防災体制の確立に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災知識の普及啓発（初期消火訓練を含む） ○救急救護技術の研修・訓練 ○地域の防災訓練 ○地域内の救出資機材の調達 ○少年防災隊の育成 ○災害時の給食・給水 ○自主防災会独自に制服、ヘルメット、手袋を会員に配布、訓練時に活用
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	<p>本組織は、浜田社会福祉連絡協議会を母体として組織結成を進めたが、その会員を構成するにあたり、地域在住の有技能者（看護婦、消防団員、工作機械操作員等）を各班に配置した。</p> <p>なお、地域内の自主防災意識の高揚を図るため、長期的視野から「少年防災隊」を自主防災組織内に位置づけた。また、組織活動を円滑に行うため、役員の中に渉外担当を置いた。</p> <p>このように、地域に根ざした地域のための自主防災組織としている。</p>
今後の活動目標	<p>所轄消防署及び地元消防分団と連絡を取りながら訓練等を継続して実施する。年1回以上は自主的な総合訓練を実施したい。</p> <p>なお、訓練参加者が、訓練等で得た防災知識を広く地域住民に普及するようにしたい。</p>

市 町 名	西宮市
担当部局名	消防局消防部消防課 担当者名 上田 TEL 0798-32-7330
自主防災組織名	甲陽園自主防災連合会
結成年月日	昭和60年10月8日
世帯数	5,415世帯
地域の特性	阪急電鉄甲陽園駅を中心部とし、地域北側は甲山の斜面山林となる市内の山間部で高低差のある起伏に富んだ地形である。
活動の内容	「繰り返し訓練を行い、災害時に平常心で防災活動が行える」ことを原点に、年間活動計画を年当初に作成し、消防機関と一体となって実施している。 ○毎月、防災定例会を開催 ○防災訓練をはじめ各種訓練・イベントを定期的実施 ○各種研修に参加 ○西宮市主催の総合防災訓練等に参加若しくは見学
苦勞・成功のポイント	組織が連合であったため、連絡の遅れ、乱れから、阪神・淡路大震災において、自主防災組織として十分機能しなかった。こうした反省点から、単位防災会を自治会単位とするとともに、広域災害に対処できるよう「防災部」を新設したことにより、自主防災組織と自治会との連絡・協力体制が確立され、各種活動がスムーズになった。
今後の活動目標	今後、さらに、あらゆる機会を通じて、自主防災組織の必要性を啓発し、自主防災組織内のいずれの任務・役割について、だれもが行えるよう、有事の際に生かされる訓練を実施していきたい。

市 町 名	芦屋市
担 当 部 局 名	総務部防災対策課 担当者名 松代 Tel 0797-38-2093
自主防災組織名	西蔵町自主防災会
結 成 年 月 日	平成9年4月1日
世 帯 数	871世帯
地 域 の 特 性	<p>芦屋市の南東に位置し、古くから建つ戸建住宅と新しく建ったマンションが混在するまちであるが、自治会活動が活発で、町内の集会所を利用してさまざまな活動を実施している。</p> <p>阪神・淡路大震災においては、同町の65%の建物が全半壊の被害を受けた。震災の体験を風化させてはいけないと自治会役員が痛感し、自主防災組織の必要性を理解して、平成9年4月に自主防災組織を結成し現在に至っている。</p>
活 動 の 内 容	<p>発足当時は、自治会の防災委員会としてスタートしたが、自治会では一部の役員が1年交代となるため、より恒久的な組織づくりを目指し、平成10年より防災会として独立した。</p> <p>原則として毎月第3日曜日を防災行事の日と決め、年度当初に決めた年間スケジュールにそって活動を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西蔵町自主防災会旗（会員の防災意識の士気を高めるため）を作成し購入 ○腕章（各人の役割分担を明確にするため）を作成し購入 ○消防本部が実施している普通救命ライセンス取得講習会に参加 ○芦屋市防災総合訓練等、市主催の防災行事に参加 ○多くの会員が防災知識を身につけることを目的に各種行事に参加
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	<p>防災会の活動だけでなく、地域活動は住民の意識の高まりが必要である。軌道に乗せていくにはまず組織づくりがポイントで、しっかりした組織づくりができておれば自ずと参加者が増えてくる。自治会活動を通じて、人と人とのつながりを広げていくことが大切である。</p>
今 後 の 活 動 目 標	<p>防災会として独立し、組織が固まってきた。年間計画に基づき、防災活動、訓練、行事を実施している。</p> <p>今後、震災の体験が風化しないよう、後継指導者を育て、若者や子ども達も含め、西蔵町にあった自主防災活動の推進に努める。</p>

市 町 名	伊丹市
担 当 部 局 名	消防局予防課危険物グループ 担当者名 竹本 Tel 0727-83-0766
自主防災組織名	緑ヶ丘自主防災会
結 成 年 月 日	平成11年7月15日
世 帯 数	1,400世帯
地 域 の 特 性	一戸建住宅が多く、事業所、工場等はなく、陸上自衛隊中部方面総監部及びその関係施設が存している。また、市内最大の都市公園（緑ヶ丘公園）があり、この公園を利用した各種行事が活発に行われている。
活 動 の 内 容	消防局の指導のもと、各種行事が行われている。 ○年末の「火の用心」巡回 ○初期消火訓練 ○資機材の取扱い訓練 ○防災ビデオの視聴覚訓練 ○消防出初式への参加 ○リーダー研修会への参加 ○防災訓練への参加
苦 勞 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	結成後、初めての年末警戒を計画し、子どもたちの防災意識を高めるため参加を呼びかけたところ、地域の方から立派な拍子木が寄贈され、大人と子どもが一体となって雰囲気盛り上げることができた。こうした自主防災会の活動をきっかけに、地域のいろいろな人が集まり、新しいつながりも生まれてきた。 自主防災会を結成するだけでなく、普段の活動をどう広げ、生かして引き継いでいくかが大切である。
今 後 の 活 動 目 標	○各種会議、講習会、研修会等へ積極的に参加する。 ○市が主催の訓練には、組織のリーダーを中心に参加し、地域での活動に生かす努力をする。 ○役員改選等で、役員が交代する関係で、引き続き消火器の取扱い訓練等の実施を計画する。

市 町 名	宝塚市
担 当 部 局 名	消防本部予防課 担当者名 佐藤 TEL 0797-73-1141
自主防災組織名	良元コミュニティ自主防災会
結 成 年 月 日	平成10年3月
世 帯 数	2,902世帯
地 域 の 特 性	自治会連合第1地区で自治会活動の中心的地域である。周辺は主として住宅地、また駅舎周辺に大規模小売店が点在する商業地域で、活況がある。 (良元北、良元中、良元南、小林、蔵人、中野町双葉、宝和の各自主防災会の連合)
活 動 の 内 容	○消火・避難等の訓練 各自主防災会で年1回実施 ○総合訓練 自治会連合として、近隣の自主防災会が相互に連携を図るため、消防防災ふれあい広場で実施
苦 勞 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	防災訓練を通じて、個々の防災意識の高揚を図ることができた。訓練で得た知識も充実し、災害時に対応できるものと思われる。また、自主防災会を通じて、地域の連帯感が高まりつつある。 しかしながら、役員の任期が単年のため、組織運営を行う役員によって、取り組みに相違が見られる。
今後の活動目標	自主防災組織を通じて、地域住民が一体となって災害活動や地域内の安全性について会合をもち、行政と地域住民との連携を図る。 また、地域住民が参加できる「消防防災ふれあい広場」を継続し、イベントを通じて、防災意識や連帯意識の高揚を図る。

市 町 名	三田市
担 当 部 局 名	消防本部予防課予防係 担当者名 的場 TEL 0795-64-7308
自主防災組織名	あかしあ台自治会自主防災会
結 成 年 月 日	平成8年12月10日
世 帯 数	2,564世帯
地 域 の 特 性	ニュータウンの中心地として、昭和62年12月に入居が開始され、現在は10数年経過しており、町としては大変若々しく活力がある。 人口約8,500人が居住しており、大半が一戸建住宅で閑静な住宅街である。
活 動 の 内 容	○住民相互の防災意識の高揚を図るため、年3回の避難、誘導、初期消火訓練を実施 ○三田市総合防災訓練への参加 ○住民への防災知識の普及のため、会報を作成配布 ○防災資機材の購入と定期的な資機材の点検整備 ○年末における町内の防火パトロール 等
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	○自治会長が防災会会長と兼任している関係で他方面で多忙なため、リーダーの育成の強化が課題である。 ○防災会会員への各種訓練の呼びかけ及び参画促進を図る必要がある。 ○市内における自主防災組織の代表者を含め、役員の任期は一般的に単年度となっているが、当自主防災会は2年任期となっているため、スムーズな活動が行われている。
今後の活動目標	あかしあ台自主防災組織は組織基盤が整備され、精力的な活動が実施されており、今後さらなる組織、資機材の充実を図り、災害時には即応体制が取れるよう会員の防災意識の高揚に努める。

市 町 名	猪名川町
担 当 部 局 名	消防本部警防係 担当者名 上殿・大塚 TEL 0727-66-0119
自主防災組織名	伏見台自主防災会
結 成 年 月 日	平成10年10月17日
世 帯 数	1,447世帯
地 域 の 特 性	大規模宅地開発（ニュータウン）の地域にあり、自治会としての歴史も浅く、他の都市から流入した世帯が大半を占めている。また、世帯数は町内でも規模の大きい自主防災組織である。
活 動 の 内 容	朝から夕方までの1日をかけて、班ごとに点検時間を設定し、自主防災会27名に消防職員1名が同行して自治会内を巡回し、点検等を実施した。 ○自主防災組織の防災資機材庫の点検 ○消火栓設置場所の確認 ○自治会で設置している消防用ホース格納箱の点検 ○消防機器取扱い訓練
苦 勞 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	この自治会には消防団がなく、消防・防災行政に対して以前から協力的な自治会であった。特に本年度の自治会役員のなかで、防犯、防災を担当する役員が特に積極的であり、自主防災組織の育成に献身的な努力を続けているため、その影響もあって、周囲の会員にも協力体制の輪が広がってきている。
今後の活動目標	猪名川町では、自主防災組織の結成を主眼として事業を推進したところ、平成11年度には結成率100%を達成したところである。当該自主防災会では次のステップとして、自主防災会を中心に、福祉、教育等を視野に入れた新たなコミュニティづくりを計画し、現在、関係機関と調整するとともに、組織運営等を研究しているところである。

市 町 名	明石市
担当部局名	消防本部警防課消防係 担当者名 村上 Tel 078-918-5271
自主防災組織名	花園校区連合協議会
結成年月日	平成11年8月10日
世帯数	3,309世帯
地域の特性	商店街等人口が比較的密集し、地域住民の結束が強い地域である。
活動の内容	○避難訓練 ○防災訓練 ・消火訓練（バケツリレー、消火器） ・要救助者搬送訓練（簡易担架） ・避難訓練（避難梯子） ○消防署による訓練の見学（放水及び救出訓練）
苦勞・成功のポイント	防災訓練は、自治会及びPTAと連携し、児童の在校時に行ったので、防災教育及び家庭や地域の対応のあり方について啓発しやすかった。特に、バケツリレーは競争する形で行ったので、楽しく取り組めた。但し、平日であったので、保護者の参加が少なかった。
今後の活動目標	震災時、花園小学校が避難場所となるので、避難場所としてどういう活動を行うか等も、訓練に取り入れていきたい。

市 町 名	加古川市
担当部局名	総務部総務課行政係 担当者名 山本 Tel 0794-27-9134
自主防災組織名	加古川グリーンシティ防災会
結成年月日	平成10年6月1日
世帯数	584世帯
地域の特性	加古川市加古川町平野に位置する団地（計7棟）で構成されている。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練（年1回以上） ○心肺蘇生法など救急法の講習会の開催（年1回以上） ○町内有志による地域巡回活動（随時） ○「防災マップ」及び「町内チャンピオンマップ」の作成、全戸配布 ○防災資機材の整備・点検、使用訓練（年2回以上） ○マンション新聞「グリーンだより」に啓蒙記事を掲載 ○要介護者の調査・把握 ○緊急時における積極的協力者の募集
苦勞・成功のポイント	<p>暗中模索の状態、何から手をつけたらよいのか、居住者の方に何を協力していただいたらよいのか分からなかったが、役員の方と話し合いをする中で、まず思いついたことから手を着けて実績をつくり、組織の運営を円滑にし、構築していくことが悩みの解決方法だと思った。</p>
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ○現在の活動に加え、外部の有識者を招いて講習会（講演会）を開催 ○近隣の町内会との協力体制を構築 ○近隣マンションに協議会の開催を案内 ○マンションという居住環境から、昼間に災害が発生した場合の、女子や子ども間の協力体制を構築 ○中・高校生へ地域協力及び講習会等への参加を呼びかけ

市 町 名	西脇市
担当部局名	企画行政部総合企画課企画調整担当 担当者名 藤田 TEL 0795-22-3111
自主防災組織名	高田井町自主防災会
結成年月日	平成10年2月17日
世帯数	472世帯
地域の特性	市街化区域の一角を占め、町内中央部を市道郷瀬野村線が南北に走っている。この市道に沿って量販店や工場などが建設されている。町東部は工業地域と準工業地域であり、町西部は区画整理事業の再開発が進む準工業地域である。
活動の内容	<p>○防災訓練</p> <p>地域住民の防災意識を高めるため、年1回の自主防災訓練を実施している。とりわけ、心肺蘇生法の訓練に力を入れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火訓練 ・心肺蘇生法の訓練 ・水利確認の訓練 ・給食給水訓練 <p>○防災訓練にあわせた防災資機材の整備点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機種、器具数の補充 ・使用方法の確認 ・定期点検、整備 <p>○地域の各種行事への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体が協力して、秋祭り、どんど焼き等を実施
苦勞・成功のポイント	地区の班長が町の役員をしており、年齢層も多様で、班員が毎年改選されるため、リーダーが育ちにくい傾向がある。結成後、日も浅いため、自主防災に対して十分な理解が得られていない状況である。しかし、自主防災訓練を継続的に実施することにより、徐々に多くの人から賛同が得られつつある。今後、継続的な活動により、自主防災活動を広く理解してもらい、一層の資質の向上を図る。
今後の活動目標	自主防災会の役員（地区班長）のうち、町内で勤務している人が少ないため、緊急時において自主防災会がすぐに対応できない場合が考えられる。その対応を検討する必要がある。

市 町 名	三木市
担 当 部 局 名	企画部企画課地域振興係 担当者名 清原 Tel 0794-82-2000
自主防災組織名	あかね防災クラブ
結 成 年 月 日	平成10年4月
世 帯 数	680世帯
地 域 の 特 性	神戸電鉄広野ゴルフ場前駅の北1kmに位置し、約30年前から開発された新興住宅地で、商店は少なく、ほとんどがサラリーマン世帯の住宅地である。初期の入居者は高齢化してきており、壮年世帯は共働きが多い。 安心コミュニティプラザの建設に先立って、平成10年に防災クラブを組織し、補助金と自己資金で防災用資機材を整備した。
活 動 の 内 容	○道路、側溝など危険個所の調査・点検 ○消火訓練（消火器実噴射、資機材使用法の指導、消防署長講話） ○消火栓ボックスセットの設置場所の選定と承諾取り付け ○防災フェスティバル及び三木市総合防災訓練への参加 ○防災委員と協力して、行方不明者の探索に参加 ○夏祭りなど地元行事の警備、年末警戒のパトロール実施 等
苦 勞 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	防災クラブ構成メンバー40数名のうち、30数名は毎年改選される自治会役員の組長で編成することになっており、女性がほとんどのため問題が多い。昼間は在宅率が低く、また在宅者は高齢者が多いため防災組織としては実働困難である。 このため、防災クラブの幹部(8名)には、往年の野球部が中心の親睦団体「やまびこ会」の協力を得て、メンバーに定着してもらい、組織の中核は維持している。但しこのメンバーも高齢化してきている。
今 後 の 活 動 目 標	現体制では災害時に役立つ組織としては機能しにくい。早急に防災クラブを強化することも難しいため、当面は、個人レベルで消火器・消火栓放水・防災機器の取り扱いや救急救命法等の技能を習得できる機会を増やし、また、避難訓練・炊き出し訓練を定例の行事として実践する中で、意識啓発を進めたい。 近い将来、壮年、青年が中心メンバーの防災組織を結成できるよう、住民相互のコミュニケーションを促進するため、自治会活動全般を推進する。

市 町 名	高砂市
担 当 部 局 名	企画部企画課地域防災計画担当 担当者名 神吉 Tel 0794-43-9007
自主防災組織名	地徳自主防災会
結 成 年 月 日	平成9年6月
世 帯 数	195世帯
地 域 の 特 性	市の北部に位置し、周囲は森林が多く、自然環境にも恵まれている地域である。
活 動 の 内 容	住民相互の親睦と協力の意識高揚を目標に、年1回以上総合防災訓練と個別訓練を実施している。 ○救急救命訓練 ○炊き出し訓練 ○林野火災訓練
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	自主防災組織の結成にあたり、市内の自治会で最初の取り組みであったので、特に役員の理解を得るのに時間をかけて協議を行った。 自治会の役員は、比較的若い世代が多く、各自が自主防災の趣旨をよく理解している。また、結成時から、自主防災活動がスムーズに行えるよう、ユニフォームを揃えた。
今後の活動目標	○災害を想定した放送訓練を実施したい。 ○過去の災害のデータに基づき、中身の濃い総合的な訓練を実施したい。

市 町 名	加西市
担 当 部 局 名	消防本部予防課予防係 担当者名 原田 Tel 0790-42-9119
自主防災組織名	青野町自主防災部会
結 成 年 月 日	平成8年7月1日
世 帯 数	110世帯
地 域 の 特 性	加西市の東端に位置し、周囲は山林、田園に囲まれ、工場、事業所等がほとんどなく、ほぼ一般住宅で構成された町である。
活 動 の 内 容	○青野町健康・防災フェスティバル (11月実施、参加人員200名) ・消火器取扱い訓練 ・救急蘇生法訓練 ・天ぷら油火災消火訓練 ・非常食体験会 ・レクリエーション 等
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	子ども会、婦人会、老人会等(3世代交流)老若男女を問わずコミュニケーションを図り、町民が一体となり健康と防災に気配りし、行事を開催していることが成功の秘訣である。
今 後 の 活 動 目 標	大災害時、防災関係機関の消火、救出、救護等の活動が分散、阻害され、十分な機能が果たせなくなることが予想される。このような事態においては、何よりも住民の自主的な防災活動が必要不可欠になる。 自分の命、家族、まちは自分たちで守るために、互いに協力し、地域一帯の防災活動が行えるような強いまちづくりを目指す。

市 町 名	吉川町
担当部局名	住民課防災・消防係 担当者名 羽田 Tel 0794-72-0180
自主防災組織名	吉川町自主防災組織
結成年月日	平成10年2月1日
世帯数	2,490世帯
地域の特性	戸建て住宅がほとんどで、食料品店等の一部商店のほか事業所、工場は少なく、ゴルフ場が多数点在している。田園や山林が多く、緑豊かな地域である。
活動の内容	<p>○防災訓練 防災意識の高揚を目的に、地域ごとに年1回以上の防災訓練を実施</p> <p>○初期消火訓練 家庭用期限切れ前消火器を使用して実施。消火栓取扱い訓練も実施</p> <p>○防災資機材の整備の充実 各地域に設置している防災資機材倉庫内の物資や機材の点検整備、不足分の補充</p> <p>○各種会議、講習、研修会等への積極的参加 年に数回、役員会議、各地域での会議や研修会を実施。行政が行う研修会等には防災委員を中心に参加し、地域での防災活動に生かす努力をしている。</p>
苦勞・成功のポイント	<p>自主防災組織の役員は、各地域から選出された防災委員で構成し、多様化する各地域の環境等様々なケースの情報を協議し、対策を検討する体制づくりを進めている。しかしながら、毎年各地域での役員改選のため役員の交代がめまぐるしく、経験不足の面が心配されるところである。</p> <p>地域住民の普段からの防災意識が高く、組織化にはそれほど時間がかからず、訓練等についても自発的に行っている。</p>
今後の活動目標	今後の活動目標として、地域住民のさらなる協力体制の強化、またネットワークづくりに力を注ぐとともに、消火訓練等の一層の充実を図りたい。

市 町 名	社町
担 当 部 局 名	地域整備部生活環境課防災係 担当者名 三木 Tel 0795-42-3301
自主防災組織名	社一区自主防災組織
結 成 年 月 日	平成10年1月15日
世 帯 数	321世帯
地 域 の 特 性	社町の市街地の北部に位置し、商店、アパート、団地等があり、従前から居住している住民とアパート等へ引越してきた住民が混在する、社町の中では都会に近い住民構成である。
活 動 の 内 容	平成10年の自主防災組織結成以前から、自衛消防隊として活動していた。 ○防災訓練 ○防災用資機材の使用説明 備蓄資機材の種類及び今後の整備計画、これらの使い方の説明 ○初期消火訓練 油パット及び消火器を使った消火訓練 油の入った鍋、フライパンを炎上させ、これをタオル等で覆い消火する訓練 ○救出訓練 倒壊建物からの負傷者救出を想定し、廃材をチェーンソーで切断する訓練 ○水防訓練 土嚢をつくり、リレーで運び、正しく積み上げ固定する訓練 ○避難誘導訓練 ○防災啓発用ビデオの放映
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	比較的自然災害が発生しにくい地域であるため、住民の災害に対する危機意識が低く、意識づけに苦労した。一部に問題も含んでいるが、隣近所の人間関係がしっかりしているので組織づくりはしやすかった。訓練等に子どもに参加してほしいとのPRが良かったのか、大人の参加も多くなった。消防団との日常のコミュニケーションが大切である。
今 後 の 活 動 目 標	消防署、警察等の力を借りながら危機意識を持たせる方法を考える必要がある。 また、座学も大切である。初期消火など事象の対処方法も大事であるが、独居老人のことも視野に入れた学習が大切である。全員が参加できる方法を考えていきたい。

市 町 名	滝野町
担 当 部 局 名	住民生活課生活環境係 担当者名 藤井 Tel 0795-48-3001
自主防災組織名	上滝野地区自主防災組織
結 成 年 月 日	平成8年4月1日
世 帯 数	894世帯
地 域 の 特 性	昔からの住宅密集地で、かつ、近年アパートが急増し、新しい住民が増加しており旧住民と新住民のコミュニケーションが希薄になっている。特にサラリーマンが多く屋間は女性と老人が中心で、自主防災組織の団結が特に必要とされている。
活 動 の 内 容	防火意識の高揚と地区の融和と親睦を目的に、災害時に敏速な行動がとれるように年1回、消防署の指導を仰ぎ、地元消防団と合同で防災訓練を実施している。 ○避難訓練（サイレンを合図に、指定場所に各組ごとに参集） ○参集訓練（各組ごとに参加人員の報告及び把握、非召集家庭の実情把握） ○消火器、バケツリレーによる消火訓練 ○ホース延長・接続訓練 ○消火栓取扱い及び放水訓練 ○防災資機材取扱い説明及び訓練（定期点検も実施） ○地元水利の確認
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	地区自治会を母体に、役員を中心に活動している組織であるため、指揮・情報伝達がスムーズに行われる利点があるが、反面、毎年役員の改選があり、役員の交代が多く、防災知識を持ったリーダーが育ちにくく、組織単独で活動や指導がしにくい状況である。また、訓練中は役員が訓練の中心で、他の住民は何をどうしたらいいのか、役割を把握できていない人が多いので、今後、訓練の回数を増やし、活動すべきことをだれもが把握するようにしなければならない。
今後の活動目標	受け身の訓練から能動的な訓練ができるよう、積極的な住民の姿勢が必要とされるため、地域の実情に応じた訓練の計画を検討しなければならない。

市 町 名	東条町
担 当 部 局 名	住民生活課 担当者名 藤浦 Tel 0795-47-1300
自主防災組織名	嬉野東自主防災組織
結 成 年 月 日	平成9年8月31日
世 帯 数	165世帯
地 域 の 特 性	昭和40年代中ごろより山林別荘地として開発され、近年は定住者が増えてきており、自治会が生まれた。
活 動 の 内 容	自治会には消防団組織がないことから、自主的に消防団との合同訓練を希望し、東条町消防団と合同訓練を実施した。
苦 勞 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	
今 後 の 活 動 目 標	

市 町 名	中町
担 当 部 局 名	住民課 担当者名 竹内 Tel 0795-32-2380
自主防災組織名	中村町自主防災組織
結 成 年 月 日	平成10年4月1日
世 帯 数	345世帯
地 域 の 特 性	官公庁、商店、人家等が立ち並ぶ密集地である。有効な水利は消火栓に頼らざるを得ない。
活 動 の 内 容	○婦人会、自治会、消防団合同による初期消火訓練 ○消火器・消火栓活用訓練 等
苦 勞 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	
今 後 の 活 動 目 標	避難誘導等を含めた総合的な防災訓練を実施したい。

市 町 名	加美町
担 当 部 局 名	住民サービス課 担当者名 梅田 Tel 0795-35-0080
自主防災組織名	山口自主防災会
結 成 年 月 日	平成10年4月1日
世 帯 数	37世帯
地 域 の 特 性	加美町の北部に位置し、人口も193人と少なく、高齢化率も24.35%（町平均23.81%）と高い。また消防団員も15人の定員に対し14人であり、町内に勤務している者は3人で、昼間の災害への不安がある。
活 動 の 内 容	○消火訓練 昼間の消防団員が少ないことから、だれもが消火活動ができるよう、毎月15日を「自主防災会活動の日」と定めて実施している。 ○炊き出し訓練 年度初めの4月に、恒例の炊き出し訓練を行い、その後、地区住民が楽しく食事をし、連携を深めている。
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	毎月行っている訓練が消火栓の使用訓練で、マンネリ化した面も見受けられるが、隣近所が誘い合いながら訓練に参加していることが、今日まで持続できた秘訣と思われる。
今 後 の 活 動 目 標	これまでに行ってきた活動を継続して行うとともに、近隣集落との合同避難訓練等も行っていきたい。また、個々の団体や組織の枠を越えた仲間づくりの推進を図りながら、地域の特性に応じた災害想定を視野に入れた活動、対応策の検討等を行い、災害の無い明るい集落づくりに努めたい。 そのためには、時には地区住民が楽しく参加できるイベントも行い、相互扶助の精神を一層高めたい。

市 町 名	黒田庄町
担当部局名	住民課 担当者名 北山 Tel. 0795-28-2121
自主防災組織名	田高自主防災会
結成年月日	昭和63年4月1日
世帯数	187世帯
地域の特性	田園が広がる農村地域で、高齢化も進み、特に屋間の防災体制の強化が急務となっている。
活動の内容	○消火訓練 消火栓・消火器による初期消火訓練、消防団との合同訓練 ○情報伝達訓練 サイレン吹鳴により自主防災会（消防協力員）出勤 ○自主防災研修参加 ○救命講習会受講
苦勞・成功のポイント	消防団OBが消防協力員として活動しており、自治会が防災会であるため、組織としての連携がスムーズに行える。
今後の活動目標	消火訓練・避難訓練等を定期的に行いたい。平成11年9月の集中豪雨では、河川の氾濫による地区内冠水等があったため、水防活動についても考えていきたい。

市 町 名	稲美町
担 当 部 局 名	産業生活部生活環境課交通防災係 担当者名 山口 Tel 0794-92-1212
自主防災組織名	国岡自治会防災会
結 成 年 月 日	平成9年8月18日
世 帯 数	910世帯
地 域 の 特 性	町の中心部に位置し、市街化区域は区画整理、農業振興区域はほ場整備が完了して人口が急増している自治会で、世帯数が町内最大の組織である。
活 動 の 内 容	○各組での取り組み ・自治会長のもとに10人の組長が一丸となって活動に取り組んでいる。 ・活動の主体は各組であり、各組の役員が、自治会活動の一環として取り組んでいる。
苦 勞 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	自治会役員の熱意で、自治会活動の一環として取り組みを行っている。
今 後 の 活 動 目 標	自治会活動の一環として位置づけ、いつ来るかわからない災害に対して、息の長い取り組みを心がけている。

市 町 名	播磨町
担 当 部 局 名	生活部住民課自主防災組織係 担当者名 浅原 TEL 0794-35-0355
自主防災組織名	鹿の川自主防災会
結 成 年 月 日	平成10年2月8日
世 帯 数	345世帯（自治会加入世帯）
地 域 の 特 性	新住民約245戸、旧住民約100戸、自治会員以外60戸であり、新旧住民のコミュニケーションが難しい地域である。
活 動 の 内 容	<p>○自治会の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えた各種防災体制の確立 ・防災訓練や講習会への積極的参加 ・自主防災意識の高揚 <p>○自主防災訓練（年1回、5月第2日曜日、過去3回実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炊き出し訓練 ・備蓄品の点検 ・通報訓練 ・バケツリレー、消火訓練 ・避難誘導訓練 ・救急訓練（救急車参加）
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	<p>毎年、春の環境美化（大掃除）実施のあと、引き続き防災訓練を行うが、自治会内の環境美化は会員の義務としているので、防災訓練の参加率は非常に良い。</p> <p>但し、実施時期の5月は実にあわただしい。4月は新旧役員、班長の交代時期であり、この4月の1回の会議で体制を整えなくてはならないからである。</p>
今 後 の 活 動 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○応急処置法、心肺蘇生法の講習会の開催 ○高齢者、寝たきり老人、幼児等の住居マップの作成 ○避難経路及び避難個所の徹底 ○初期消火の心得と町内消火栓取扱いの徹底 ○全自治会員と町内外施設の連絡網の徹底

市 町 名	姫路市
担 当 部 局 名	消防局防災課育成担当 担当者名 石原・名倉 Tel 0792-23-9549
自主防災組織名	英賀保地区連合自主防災会
結 成 年 月 日	平成8年9月
世 帯 数	5,066世帯
地 域 の 特 性	平坦な地形の住宅地で、災害危険箇所（急傾斜地、土砂災害等）等も存在せず、河川水路も整備されている。また、JR、私鉄をはじめ道路状況を含めた交通事情は良好である。
活 動 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○連合自主防災会の防災訓練の企画立案 ○各町自主防災会の活動指導要領の検討 ○組織と任務の検討立案 ○災害発生時の生活用水確保を目的とした市民開放井戸の調査登録 登録数 34ヶ所 ○防災井戸及び貯水槽の調査 防災井戸13ヶ所、貯水槽4ヶ所、プール1ヶ所、 調査終了後、消防分団により放水点検を実施 ○災害発生時の情報伝達方法の確立と訓練計画の立案 ○防災懇談会の開催
苦 勞 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	<p>大規模災害時には、各単位自主防災会ごとの活動と併せて、地区全体での連携した活動が重要である。そのため、あらゆる自治会行事を活用して、防災意識の啓発を行い、地域全体での「地域ぐるみ活動」を活性化させた。</p> <p>また、マンネリ化を防ぐため、遊びの要素を取り入れた自主防災訓練を随時実施している。</p>
今 後 の 活 動 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○現在の活動の継続 ○自主防災活動のレベルアップ ○人材の育成 マンネリ化防止のため、前向きなリーダーシップのとれる人材を育成

市 町 名	相生市
担当部局名	企画管理部総務課総務係 担当者名 竹内・大西 Tel. 0791-23-7126
自主防災組織名	古池本町自治防災会
結成年月日	平成9年4月1日
世帯数	211世帯
地域の特性	古池は本町および向陽台があり、1丁目・2丁目には、もと石川島の社宅があつて万が一の火事等では被害が大きくなる可能性がある。 古池には長池という大きな池があり、火事の際は長池が有効活用できる。過去に消火栓のパイプが細く水圧が上がらなかつたため、長池を利用して消火した。
活動の内容	○消火訓練 ○救護訓練 ○地区清掃に併せた防災訓練 ・消火器取扱い訓練 ・バケツリレー ・応急処置訓練
苦勞・成功のポイント	○自治防災の組織を総会に図り、住民に徹底する。 ○年1回、防災訓練を実施し、防災意識の高揚を図る。
今後の活動目標	地元消防団とも連携を密にし、防災の初期活動によって被害を最小限に抑えられるよう、防災意識を住民に徹底していきたい。

市 町 名	赤穂市
担 当 部 局 名	総務部総務課 担当者名 富永 Tel 0791-43-6850
自主防災組織名	塩屋向自衛消防隊 他
結 成 年 月 日	昭和44年3月23日～平成元年11月22日
世 帯 数	2,739世帯
地 域 の 特 性	市の中心部の西部に位置し、住宅地（個人住宅・公営住宅）、田園地、山地及び工業地帯が混在して、多様な特性を有する地域である。 さらに、4年前に大学が新設されたことに伴い、マンション、店舗が建設され、新たなまちとしての性格をもつ地域もある。
活 動 の 内 容	災害応急対策が有効にできるよう、校区内コミュニティ防災体制の強化、並びに防災意識の高揚を図ることを目的に、小学校運動会の場において、ゲーム感覚をも加味した体験的な防災訓練を実施した。 ○コミュニティ防災訓練（防災運動会） ・防災標語の地区別披露競争 ・救出救護訓練 担架作成搬送リレー ・避難召集訓練 ・操法訓練 ・防災ヘリコプター（上空からのスピーカー広報） ・防災グッズ等の展示
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	防災訓練は、各地区の自主防災組織・小学校教職員をはじめ訓練参加機関も協力的であり、また市内小学校で在校生が最も多い運動会の場での実施であったため、多数の参加者（約1,500名）が得られた。 但し、小学校の運動会の場であるため、競技内容及び時間に若干の制約があった。
今 後 の 活 動 目 標	平成11年度の活動を契機に、今後も、塩屋地区の自主防災組織の合同の活動を継続したい。12年度においても小学校運動会の場において実施予定である。

市 町 名	家島町
担 当 部 局 名	生活課消防安全係 担当者名 豊島 Tel 07932-5-3003
自主防災組織名	坊勢地区自主防災会
結 成 年 月 日	平成7年12月1日
世 帯 数	791世帯
地 域 の 特 性	離島であり、道路は狭隘で、高所にまで民家が密集し、住民は大半が地元の方である。住民気質は非常に団結力・責任感が強く、自主防災組織に限らず、その他の団体活動も非常に活発である。
活 動 の 内 容	○防災訓練 住民相互の親睦と意識高揚を目的に、年1回以上、非常備消防団と合同で実施 ○消火栓放水訓練 ○消火器取扱い訓練
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	組織活動として、各関係機関との連携、PR活動、総合マニュアルづくり等も考えている。
今後の活動目標	地域の特性を生かした組織づくり、意識高揚を目指す。

市 町 名	夢前町
担 当 部 局 名	生活環境課 担当者名 福井 Tel 07933-6-0001
自主防災組織名	バーズタウン自主防災会
結 成 年 月 日	平成11年4月11日
世 帯 数	294世帯
地 域 の 特 性	<p>姫路市の北側に位置する戸建て中心の新興住宅地で、世帯数は今後も増加する可能性が高い。近くには山崎断層がある。</p> <p>自治会の役員体制を、そのままスライドさせて防災組織としているのが特徴で、輪番制の組長（隣保長）など、全自治会員が自ずと防災会に関わっていくシステムを構築している。防災会組織においては、防災本部、消火班、救護班、物資・誘導班を編成し、防災の啓発を目的に、消防団と連携し、各班ごとに防災事業を実施している。</p>
活 動 の 内 容	<p>各事業については「防火防災訓練災害補償制度」が受けられるように、「防災事業計画書」を町役場に提出する。また、自治会会計より「自主防災費」として年間予算を組み、防災資機材の購入資金や事業費としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年間数回の「防災会議」の実施 ○地域内の消火栓水利の点検・保全、消火器や消火栓からの消火訓練 ○消防署主催の「普通救命講習会」への参加（毎年約30名程） ○防災講演会（建築診断士による住宅耐震、消防署員による防火対策について） ○地域内における家屋火災時の支援、家出人搜索の支援 ○「防災ニュース」（各事業の案内、防災に関する情報掲載）の発行（年数回） ○防災資機材の整備 <p>毎年の予算内で、担当班を中心に資機材の選定・購入を行う。購入品の保管場所としては、中古コンテナを防災専用倉庫として消防団と共同管理している。</p>
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	<p>結成2年目を迎え、特徴である自治会と防災会の兼務システムにより個人の負担が少し大きくなっているため、毎回いかに負担を軽減して、楽しく親しみやすい事業運営をしていくかに苦労している。また、防災会に自治会全体が関わり、地元消防団の支援体制がしっかりでき上がっていることが、これまでの成果に繋がっている。</p>
今 後 の 活 動 目 標	<p>班別に行っている防災事業を統合して、防災会員だけでなく地域住民の多くが参加できる総合防災訓練の実施や、近隣の防災会との交流などを考えている。</p>

市 町 名	神崎町
担当部局名	生活環境課消防防災係 担当者名 井上 Tel 0790-32-1221
自主防災組織名	神崎町自主防災組織
結成年月日	平成10年3月1日
世帯数	
地域の特性	<p>四囲を主峰千ヶ峰(1006m)や笠形山(939m)、白岩山(903m)をはじめ、400～900m級の山々で囲まれ、約9割を山林原野が占める緑豊かな町である。</p> <p>昔から、地震による被害はないが、水害や大雪による被害は数年に1回程度発生している。ここ数年は、集中豪雨、鉄砲水による河川被害が数多く発生しており、消防団員と自主防災組織員が協力体制を組み、その被害の軽減に努めている。</p>
活動の内容	<p>○自主防災組織リーダー研修会(100名程度、各組織から5～8名程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水防訓練(土嚢のつくり方、積み土嚢工法、ロープ結索) ・講義(災害現場での消火、救助活動) <p>○消防団とタイアップし訓練を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火栓・消火器取扱い訓練 ・普通救命講習 <p>○消防団とタイアップし、火災、水防等非常時に、その被害軽減のために活動</p>
苦勞・成功のポイント	消防団と同じように、自主防災組織の指揮命令系統を早急に構築することがポイントと考えている。
今後の活動目標	町内19の自主防災組織が、それぞれ自主的に訓練を展開できるようにしていきたい。

市 町 名	福崎町
担 当 部 局 名	生活環境課生活係 担当者名 蔭谷 TEL 0790-22-0560
自主防災組織名	辻川自主防災会
結 成 年 月 日	平成10年4月1日
世 帯 数	344世帯
地 域 の 特 性	狭い道路が多く、住宅が密集している。一部に商店街があり、古いまち並みが残っている。また、山崎断層の上であり、阪神・淡路大震災と同じような事態がいつ起きても不思議ではない。
活 動 の 内 容	阪神・淡路大震災を教訓として、住民相互の協力と防災意識の高揚を目的とした辻川区自主防災訓練を実施し、各種団体役員、消防団、小学生・老人会、婦人会、地区居住者が参加している。 ○避難誘導訓練 ○防災救助器具の搬出・点検・収納 ○消火栓による放水訓練 ○消火器による油火災消火訓練、消火剤詰め替え ○負傷者の蘇生、応急措置
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	自主防災組織の役員が、各種団体から選出されているため、入れ替わりが激しいのが難点である。
今 後 の 活 動 目 標	自主防災組織の活動の活性化、防災訓練の年1回の実施

市 町 名	香寺町
担当部局名	生活課 担当者名 田中 Tel 0792-32-0001
自主防災組織名	久畑自主防災組織
結成年月日	平成10年3月2日
世帯数	63世帯
地域の特性	中国自動車道及び県道三木山崎線が走る緑豊かな農村である。
活動の内容	自主防災組織会長（区長）の指揮のもと、消防団、婦人会、老人会、村役員による自主防災訓練を実施している。 ○消火栓、可搬式ポンプによる放水訓練 ○消火器による初期消火訓練 ○飲料水確保（村全戸の飲料が確保できる井戸の調査） ○避難誘導 ○独居老人、70歳以上夫婦家庭、緊急通報システム設置家庭の避難人数把握 ○町が支給したリュックサックを使用した人数把握 ○被害状況、自主防災組織各班の出勤人員、各団体訓練状況の把握
苦勞・成功のポイント	訓練終了後、各班が報告書を作成し、参加団体は集会所に集合し、訓練の反省及び次回の実施内容の討議を行っている。 訓練の反省点は次のとおり。 ・消火栓位置、川の支流等水源について必要な事柄を記入した図面が必要。 ・応急措置は婦人会だけでは無理で、老人会との協力が必要。 ・婦人会会員は消火訓練を年1回経験し、老人会も年2～3回行う。特に、消防団員のいない屋間等に消火組織が必要。
今後の活動目標	今回の訓練は、各団体の役員等で実施したが、次回はできるだけ全項目を村全体で実施すべきである。 三角巾、その他救急の物品は村が購入して集会所に備えておく。

市 町 名	大河内町
担当部局名	住民生活課消防防災係 担当者名 佐古 Tel 0790-34-0962
自主防災組織名	自主防災おおかわち
結成年月日	平成10年7月4日
世帯数	1,622世帯
地域の特性	町全体の約90%が山林で、町役場を中心に集落が二つの谷に分かれ、20集落で構成された山間地域である。 組織の体制は、本部及び4つの支部で構成され、1支部が300世帯以上になるように、また集落間の共生及び危険箇所数等を考慮した支部構成をとっている。
活動の内容	○啓発活動 ・町広報誌に毎月掲載、チラシを新聞折り込み ・9月1日の「防災の日」に合わせた懸垂幕での啓発 ・1月17日の「防災とボランティアの日」に町内全域を宣伝カーで啓発 ○実践活動 ・初動巡視班による危険箇所の情報伝達訓練 ・心肺蘇生訓練 ・炊き出し訓練 等
苦勞・成功のポイント	組織を設立するために、基本要綱、基本計画等の作成、消防団との位置づけ等、事前の準備に大変な事務量を費やした。また、会員の募集についての各種団体への協力依頼等、設立準備に苦勞した。 成功のポイントとしては、組織を本部・支部体制にしたことで、小集落においても活動ができること、また、設立当初、歴代消防団長が本部役員並びに各支部長になってもらったため運営がスムーズに進行すること等がある。
今後の活動目標	各支部での積極的な活動が、これからの大きな重点目標になってくる。会員、住民の防災に対する意識は高まってきているが、各種訓練が未実施、未経験なため、有事における活動体制を確立していく必要がある。

市 町 名	新宮町
担当部局名	町長公室消防防災係 担当者名 横田 Tel. 0791-75-0252
自主防災組織名	元町自主防災会
結成年月日	平成10年4月1日
世帯数	88世帯
地域の特性	新宮町の中心地にあり、公共施設が点在し、戸建て住宅が密集した地域である。
活動の内容	○日頃の活動 ・消火栓、器具庫の点検 ○元町自治会自主防災訓練（年1回） 台風の接近に伴う大雨で床下・床上浸水の発生を想定した全員参加訓練を実施 ・情報訓練（台風及び各河川の水位状況等の把握、報告） ・避難誘導訓練 ・炊き出し訓練 ・救出訓練（避難できない寝たきり老人、障害者の救出） ・消火訓練（天ぷら火災） ・物資の調達訓練（西播磨広域防災拠点倉庫から寝具を調達）
苦労・成功のポイント	当防災会には、4人の独居老人が居住しているため、その方の避難をどのように行うか、また、若者を含めた会員の意識向上をどのように図っていくかが課題である。 活動の成果として、毎回、訓練を行うごとに参加する会員も増えており、今後の活動に繋がる意見も出されている。
今後の活動目標	まずは、訓練を重ねていくことが大切であり、若者や子どもも参加していただけるような訓練にしていきたい。 また、会員同士の交流を深め、助け合いの精神を育て、独居老人等に対する日頃の声かけや災害時の避難誘導が実施できるような体制づくりを検討していきたい。

市 町 名	揖保川町
担 当 部 局 名	住民課消防防災係 担当者名 神尾 TEL 0791-72-2525
自主防災組織名	グリーンハイツ自治会自主防災会
結 成 年 月 日	平成11年5月1日
世 帯 数	119世帯
地 域 の 特 性	姫路を中心とする播磨都市圏の拡大、JRを軸とする京阪神とのアクセスの向上などにより誕生した住宅地である。
活 動 の 内 容	自治会の各隣保より選出された会員で構成され、地域住民の防災に対する意識高揚を目指し、年1回以上の訓練、講習等を実施している。 ○消火栓・消火器を用いた放水、初期消火訓練 ○災害を想定した避難訓練 ○春、秋の火災予防運動、防災の日の自治会放送による啓発活動 ○夏祭、年末時の地域内パトロール ○防災センター等の先進地視察研修 ○防災スローガンプレートの設置（自治会内3ヶ所） ○災害時等の対策等のチラシの配布
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	組織活動については、結成後日も浅く、すべての地域住民に防災意識が浸透していないのが実態であり、いかに浸透させるかが悩みの一つである。 そこで、「自分達の住んでいる地域は自分達で守ろう」の防災スローガンプレートを地域内3ヶ所に設置し、PR活動を実施している。また、日頃から自治会の会員がふれあい、協力し合って防災訓練に参加、実践することがいかに大切かを呼びかけており、徐々にではあるが、コミュニケーションをとりあい、安心して暮らせる地域づくりへの気持ちが浸透しつつある。
今 後 の 活 動 目 標	防災組織の活動を推進するには、地域住民の協力、努力が大切であり、日頃から積極的に地域の人々がコミュニケーションをとりあい、いざという時にもお互いが信頼して行動できることが重要と考えている。 そこで、防災訓練等を実施し、講習会等で防災知識の高揚を図り、地域の特性を生かした災害想定と対応策を地域ぐるみで考え、実践していこうと考えている。

市 町 名	御津町
担 当 部 局 名	住民課 担当者名 河原 TEL 07932-2-1001
自主防災組織名	栄町自主防災組織
結 成 年 月 日	平成8年4月13日
世 帯 数	261世帯
地 域 の 特 性	御津町北部に位置する住宅地の集落で、特別養護老人ホーム「シスナブ御津」がある。
活 動 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○年4回発行の地域広報誌「四季彩」で防災について啓発 ○防災倉庫の設置、資機材の保有、毎年度資機材購入費用を予算計上 ○御津町防災総合訓練等に参加 ○栄町自主防災組織訓練を実施（400人参加） ○特別養護老人ホーム「シスナブ御津」で行われた建物火災想定訓練に参加 ○火災警報器設置（50世帯） ○消火器薬品交換（更新）及び消火訓練 ○普通救命講習会受講、認定証取得
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	平成9年10月に行った訓練は、御津町で初めての自主防災組織主体の防災訓練であったので、地域住民の末端まで防災意識が浸透しておらず、人員の確保が困難であった。逆に、訓練当日には予想以上の参加者があるなど、計画の目処が立ちにくかった。
今 後 の 活 動 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○突発的事態に対応できる地域の危機管理体制の育成・維持 ○避難場所、防災機材の充実、維持管理 ○家庭内での危機管理・対応の仕方等の意識低下防止

市 町 名	太子町
担 当 部 局 名	生活福祉部生活環境課消防防災係 担当者名 岡田 Tel 0792-77-1015
自主防災組織名	原池団地自主防災会
結 成 年 月 日	平成8年12月12日
世 帯 数	74世帯
地 域 の 特 性	町の東部に位置し、西側と北側は大池に接し、南側に東西に延びる町道があるが、立地的に袋小路となっている新興住宅地である。
活 動 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○消火栓の点検、消火機器の点検 ○放水訓練及び消火器取扱い訓練 ○太子町防災訓練への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・炊き出し訓練 ・緊急召集訓練 ・避難誘導訓練 ・危険箇所把握訓練 ・負傷者救護訓練、建物倒壊救出訓練 ・水防工法訓練 ・初期消火訓練、建物火災訓練 ○避難場所の地図作成 ○住宅地周辺の危険箇所の把握 ○自主防災組織中核リーダー研修会への参加 ○揖南三町防災講演会で会長が実践発表
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	新興住宅地のため男性は会社勤めが多く、また、近年、女性も勤めに出る機会が多いので、昼間の対応に苦慮している。
今 後 の 活 動 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○老人、女性の力の一層の活用を図る。 ○独居老人、身体的弱者について、自治会組織内に福祉委員を任命し、日常生活において、その把握に努め、災害時には優先対応できる体制を確立する。

市 町 名	上郡町
担 当 部 局 名	住民課生活消防係 担当者名 新免 Tel 0791-52-1115
自主防災組織名	高田台六丁目自治防災会
結 成 年 月 日	平成10年3月27日
世 帯 数	126世帯
地 域 の 特 性	周辺地域を含め約1,000世帯の団地で、ほとんどがサラリーマン家庭である。
活 動 の 内 容	<p>○防災計画、班編成の確立</p> <p>自治会役員の任期が短く、防災計画も無かったところ、前会長が積極的に活動して、平成12年4月1日に防災計画が作成され、組織の編成及び任務分担が確立した。同じく、12年から会長の任期も2年となった。</p> <p>○消火訓練</p> <p>7月に、第1回消火訓練が、公園清掃奉仕の後に、消防団の指導により実施された(参加者約40名)。</p>
苦 勞 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	
今 後 の 活 動 目 標	定期的に役員会を開催して各班の任務の浸透を図るとともに、各種訓練を実施したい。

市 町 名	佐用町
担 当 部 局 名	住民課生活環境係 担当者名 諏訪 TEL 0790-82-0660
自主防災組織名	福沢部落自主防災組織
結 成 年 月 日	昭和30年4月1日
世 帯 数	66世帯
地 域 の 特 性	町の中心部から少し離れ、一戸建て住宅がほとんどである。高齢化がかなり進んでいる。
活 動 の 内 容	○防災資機材の整備点検 ○防災訓練
苦 勞 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	組織として計画は作成しているものの、それぞれの班で役割意識や防災意識が不足している。
今 後 の 活 動 目 標	防災訓練を実施し、防災意識を普及、啓発していきたい。

市 町 名	安富町
担 当 部 局 名	住民課消防係 担当者名 森上 Tel 0790-66-2301
自主防災組織名	狭戸自主防災
結 成 年 月 日	平成9年4月30日
世 帯 数	103世帯
地 域 の 特 性	町の最南端で姫路市に隣接している。住民の自主防災に関する意欲は大きい。
活 動 の 内 容	○狭戸地区避難訓練を実施
苦 勞 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	以前に比べて統一的な行動ができるようになった。
今 後 の 活 動 目 標	町全体で実施される防災活動へ積極的に参加できるよう、地域住民の意識の高揚に努める。隣保単位を越えた地区全体の仲間づくりを進める。

市 町 名	宍粟郡一宮町
担当部局名	住民課生活係 担当者名 為木 Tel 0790-72-1000
自主防災組織名	倉床自治会自主防災会
結成年月日	平成10年3月1日
世帯数	62世帯
地域の特性	当地区では、高齢化率44.7%（前年43.4%）という急激な少子高齢化と過疎化が進む中で、平成11年12月末に一宮町消防団倉床部が廃止になり、現在、自衛消防となっている。
活動の内容	○防災用資機材の点検と使用訓練 ○消火栓を使用した初期消火訓練 ○自治会学習会の開催 ○その他防災意識の高揚を図る諸活動
苦勞・成功のポイント	近年の過疎化と急激な少子高齢化の中での消防組織の自衛化によって、図らずも、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識が住民の中に定着した。
今後の活動目標	○一宮町防災総合訓練への参加

市 町 名	波賀町
担当部局名	住民課福祉係 担当者名 楳谷 Tel 0790-75-2220
自主防災組織名	原自主防災組織
結成年月日	平成9年4月1日
世帯数	81世帯
地域の特性	町の北部に位置し、氷ノ山、後山、那岐山国定公園の原不動滝や原観光リンゴ園など、美しい自然に包まれた集落である。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○町防災総合訓練への参加 ○消火栓使用訓練の実施 ○自主防災事業を兼ねた盆踊りやリンゴまつり等のイベントの実施 ○危険個所の点検、一人暮らし老人等の訪問活動
苦勞・成功のポイント	古くから、コミュニティが形成され、自治会全体が親戚のようなつきあいをしているため、各種事業を進める際にも、比較的容易に計画、実行されている。
今後の活動目標	現在行っている事業の継続と、自主防災組織及びコミュニティ全体でのソフト面（ファイルづくり、むらづくり事業等）の充実を図っていく。

市 町 名	千種町
担 当 部 局 名	住民課生活衛生係 担当者名 岸本 Tel 0790-76-2210
自主防災組織名	西河内自治会自主防災会
結 成 年 月 日	平成7年12月1日
世 帯 数	108世帯
地 域 の 特 性	標高1000m級の山々に囲まれた小さな自治会であり、町の中心部より8 km離れているため、火災、特に山林火災には警戒を強めている。また、当自治会内には、ちくさ高原があり、オールシーズン型のレジャー施設を保有しているが、当自治会よりさらに7 km離れている。
活 動 の 内 容	○山林火災を想定した訓練 町の消防団、地元消防団等と自主防災組織とが実施 ○防火水槽、危険箇所等の定期点検
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	自治会の規模が108戸と小さいため、まとまりも良く、山林火災等の危機感もあることから、自主防災組織の設立は成功した。 ただ、昼間は若者が働きに出かけ、老人が多く残ることが課題である。
今後の活動目標	自主防災組織の強化を図り、自治会役員が、いかなる災害に対しても対応できるように、常日頃から防災に関して啓蒙を図る。

市 町 名	豊岡市
担当部局名	企画総務部総務課行政係 担当者名 河本 TEL 0796-23-1111
自主防災組織名	正法寺防災
結成年月日	昭和55年8月10日
世帯数	508世帯
地域の特性	市内の駅西地域に位置し、住宅を中心とした丘陵地帯と田、畑が残る田園地帯を持ち合わせている。市の中でも4番目に多い世帯数を抱え、区画整理事業をはじめ、都市計画道路の建設等による人口増加の顕著な地区である。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○正法寺総合防災避難訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・放水・消火訓練 ・救出・救護訓練 ・炊き出し訓練 ○心肺蘇生講習会（年1回） ○消火器の詰め替えと幹旋（年1回） ○浸水時の土嚢づくりと土嚢積み ○浸水時の交通整理、巡回 ○浸水対策ポンプスクリーンの掃除（月2回）
苦勞・成功のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ○資機材整備の費用、格納場所がなくて困っている。 ○区民への啓発（非常持出袋の常備など）に苦勞している。 ○訓練に関しては、諸団体（自警団・中年会・育成会）の積極的な協力のもと、特に各班ごとに自主責任で準備段階から取り組んでおり、非常に熱心である。 ○区民の意識が向上し、避難訓練も予想以上の参加がある。 ○訓練場所に恵まれている。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練のみ参加の人達に、消火器や救助器具の取扱い、炊き出し等の訓練にも参加を求める。 ○休日以外の夜間の訓練（体制が取れるかどうかの点検）、抜き打ち訓練等を実施する。 ○平常時の活動を充実していく。 ○中学生、高校生等の参加について検討を進める。

市 町 名	竹野町
担 当 部 局 名	総務課総務係 担当者名 宮嶋 Tel. 0796-47-1111
自主防災組織名	竹野浜自治会区自主防災組織連合
結 成 年 月 日	平成10年1月23日
世 帯 数	641世帯
地 域 の 特 性	町北部の日本海に面する地域に位置し、役場や商店などが集積する人口密集地であるが、近年は高齢化が進行し、高齢者だけの世帯も多い。 (東町、中町、馬場町、上町、下町、西町、駅前の7つの自主防災組織)
活 動 の 内 容	○防災訓練 住民相互の協力と防災意識の高揚を目標に、消防団と合同の初期消火訓練を実施している。 ・バケツリレーによる消火訓練 ・消火器による台所油火災の消火訓練
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	平成9年度に町の総合防災訓練を行ったこともあり、また、自主防災組織の資機材を整備している時期であったため、防災訓練には、当初予定していた人数の1.5倍の参加者があった。特に台所を預かる女性の参加者が多かった。
今 後 の 活 動 目 標	独居老人や老人のみ世帯等の災害弱者の情報把握や、地域内における危険個所の点検及び災害時における避難場所への誘導等のシステムづくりを手がけるとともに、消火栓や防火水槽を利用した初期消火訓練を実施する。

市 町 名	香住町
担当部局名	住民課消防・交通係 担当者名 吉野 Tel. 0796-36-1111
自主防災組織名	駅前区防災会
結成年月日	昭和60年11月1日
世帯数	271世帯
地域の特性	区の中には様々な種類の商店が立ち並ぶとともに、戸建住宅も密集しており、昔ながらの商業区である。
活動の内容	地域住民の防災意識が高まっていくなかで、さらに自主防災組織の実践力を強化するために、毎年1回防災訓練を行っている。 ○駅前区防災訓練 地震による住宅火災、家屋倒壊、水道断水等の被害を想定 地元住民、広域消防本部、消防団、婦人会、自主防災組織が参加 ・情報収集・伝達訓練 ・避難・誘導訓練 ・交通規制訓練 ・初期消火訓練 ・救急救護訓練 ・炊き出し訓練
苦労・成功のポイント	今回の訓練では約200名の参加者を予定していたところ、実際には約280名もの参加者があった。これは、震災以降の住民の防災意識の高揚だけでなく、訓練日の1週間前から、有線放送で、訓練実施の広報を徹底的に行った成果であったと思われる。また、地元広域消防本部職員、地元消防団員の参加により、より実践的で緊張感のある訓練が行われた。
今後の活動目標	今後は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神を忘れずに、災害が発生したとき、迅速かつ的確に防災活動が行われるよう、一人ひとりが正確な防災知識を身につけていくことが必要である。そのため、年に数回は広域消防本部職員、町職員による講習会を開催し、また、この知識が一時的なものにならないよう日頃から訓練を繰り返し行う予定である。さらに、この活動に必要な防災資機材を確保するとともに、災害時にはすぐに利用できるように普段から整理・点検を行っていく。

市 町 名	日高町
担当部局名	住民課防災・環境係 担当者名 橋本 Tel 0796-42-1111
自主防災組織名	国分寺区防災会
結成年月日	平成11年1月10日
世帯数	157世帯
地域の特性	町の中心部に位置し、近年、家屋の新築やアパートの増加により人口が急増している。
活動の内容	○毎年春・秋の2回、施設、資機材点検等を兼ねた防災訓練を実施 ○起震車による地震体験 ○地区内の消火栓を使った消火訓練
苦勞・成功のポイント	区民それぞれの勤務形態の多様化等で日程調整が難しいため、区内クリーン作戦等他の行事と併せて、防災訓練を実施している。講師については、消防署や地元消防団に依頼している。
今後の活動目標	現在の活動内容を基本に、これを定着させるとともに、区民一人ひとりの防災意識の高揚を図るため根強い活動を展開したい。

市 町 名	八鹿町
担当部局名	総務課消防係 担当者名 西田 Tel. 0796-62-3161
自主防災組織名	旭町区防災隊
結成年月日	平成9年6月1日
世帯数	44世帯
地域の特性	町の中心部に位置し、住宅や店舗・工場が密集している区域である。住宅地は旧来のものと新興住宅が混在している。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・消火栓を使用した放水訓練 ・消火器を使用した消火訓練 ○講習会 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行型除雪機の取扱講習会 ○防災活動 <ul style="list-style-type: none"> ・消火栓及び機器保管箱の点検（年12回） ・除雪機による消火栓・機器保管箱・区内道路の除雪 ・年末警戒（区内パトロール）
苦勞・成功のポイント	地道で息の長い活動を行うことを考え、区民が参加しやすい活動内容・時間・人員配置を検討し、無理が生じないように配慮をしている。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ○区民全員が消火器・消火栓の取扱訓練を受け、初期消火に携われるようにする。 ○CPR講習会を開催する。 ○独居老人宅等への訪問等により、安否を確認し、防災チェックを行う。

市 町 名	養父町
担当部局名	住民課生活環境係 担当者名 片岡 Tel 0796-64-0281
自主防災組織名	養父市場地区自主防災会
結成年月日	平成10年3月10日
世帯数	236世帯
地域の特性	町内で最も家屋・人口が密集しており、東は一級河川（円山川）、西は山林、南北が狭くなった地形で、集落間は4本の用水路が南北に流れ、昔から錦鯉の産地として有名な地域である。組織を結成してからの期間が浅いため、大きな災害に遭遇していないが、平成12年2月の豪雪では、水路の除雪活動を行い、低地にある住宅への浸水を防いだ。
活動の内容	○初期消火訓練 消防団、消防本部の協力を得て、初期消火活動等の訓練を実施している。 ○災害弱者地図の作成 有事に際し、組織が機能的に動くことが重要で、このため、各班の指導的な立場にある者を中心に独自の研修を開催し、区内の独居老人・身体障害者・母子家庭などの災害弱者の地図を作成している。本人の了解を得られたものについては、寝床の位置を記し、スムーズな救出活動に備えている。
苦勞・成功のポイント	大きな集落のため、区民全員に周知し理解をさせることが困難で、特に高齢者（独居老人も含む）に対しては、何度説明しても理解をしてもらえない。また、中には、こうした活動は消防団や消防本部の仕事だと主張し、非協力的な人がいるなど、役員の苦勞が続いている。
今後の活動目標	○防災の行動計画の作成 地震、豪雨、長雨、強風などの自然災害や火災の発生等を想定し、応急活動のあり方、予防活動等について、行動計画としてまとめていきたい。 ○訓練活動の充実 初期消火活動に限らず、救出訓練や避難訓練等も計画的に実施したい。

市 町 名	大屋町
担 当 部 局 名	総務課企画調整係 担当者名 羽淵 TEL 0796-69-0120
自主防災組織名	山笠地区自主防災組織
結 成 年 月 日	平成元年2月1日
世 帯 数	67世帯
地 域 の 特 性	おおやホール、中央公民館、特別養護老人ホーム、大屋小学校など官公庁が集積する地区であるが、人口が109人と少なく、高齢化率は64.2%と町内各区の中で最も高い。消防団員は5人しかおらず、団員の確保が困難なため、災害時に地域に住む住民みんなで村を守らなければならないという意識が浸透しており、町内で一番早く自主防災組織が設置された。
活 動 の 内 容	○初期消火活動等の訓練 日頃の活動で、消防団と連携を図りながら実施 ○消防団との合同訓練 防災意識の高揚と消火技術の向上を図るため開催 ・消火器取扱い訓練 ・避難訓練
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	若者流出等による過疎化の進行により、組織のリーダーの高齢化及び地域コミュニティの低下が深刻な状況である。今後は、近隣の区との連携を一層密にしていく必要がある。
今後の活動目標	○消火訓練の定期的な実施 ○備蓄資機材の点検 ○安心マップの確認 等

市 町 名	生野町
担 当 部 局 名	総務課庶務係 担当者名 足立 TEL 0796-79-2240
自主防災組織名	円山区防災村づくり推進協議会
結 成 年 月 日	平成5年7月10日
世 帯 数	53世帯
地 域 の 特 性	一級河川円山川の最上流部にあたり、国道312号沿線の農村地域で、北隣の朝来町に接している。
活 動 の 内 容	○消防教室 あさご消防本部の指導により実施 ・防災講話（管内の災害状況について） ・消火器取扱い訓練（取扱い説明及び実技訓練） ・天ぷら油火災消火訓練（取扱い説明及び実技訓練） ・消火栓取扱い訓練（取扱い説明及び実技訓練）
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	
今 後 の 活 動 目 標	以前に発生した火災を機に、これを教訓として設置した協議会であり、今後も無火災を目標としていく。

市 町 名	和田山町
担当部局名	総務課庶務係 担当者名 足立 TEL 0796-72-3301
自主防災組織名	平野地区自主防災会
結成年月日	平成11年1月15日
世帯数	252世帯
地域の特性	町内でも人口・世帯数が多い地域で、特にアパート等が多く人口の流動が大きい。また、地域の範囲が広く、飲食店やスーパー等の店舗も多い。特に今年は、近年まれにみる大雪に見舞われたが、除雪や住宅被害調査など即座に対応した。
活動の内容	自主防災会を中心として、災害予防活動・災害時の対応等、活発な活動が行われている。 ○消防教室 ○消火栓や消火栓用ホース等の格納箱の確認と点検 ○水源の確認と点検 等
苦労・成功のポイント	地域が広域で、かつ人口の流動が多いため、連絡網の確立や人の把握に苦労が大きい。自主防災会では、独自の連絡マニュアルにより、連絡体制の確立に大きな成果を挙げている。
今後の活動目標	○防災知識の普及 ○火災予防 ○災害時における情報収集、初期消火、救出救護、避難誘導、給食・給水等の備え及び防災資機材の管理 ○訓練の実施 ○高齢者等の救護体制の整備 等

市 町 名	山東町
担当部局名	総務課庶務係 担当者名 藤原 Tel. 0796-76-2080
自主防災組織名	清水町区自主防災会
結成年月日	昭和53年10月
世帯数	169世帯
地域の特性	町の中心部に位置し、町内で一番多い世帯数を抱えている地区である。
活動の内容	○自主防災会の班編成 ○消防教室等の訓練や研修会の開催
苦勞・成功のポイント	訓練に全世帯が参加することは難しい。また、訓練等の指導者の人選に苦勞している。
今後の活動目標	全世帯参加の訓練や研修会を定期的に行なう。

市 町 名	篠山市
担 当 部 局 名	政策部まちづくり推進課プロジェクト推進係 担当者名 畑 Tel. 0795-52-1111
自主防災組織名	岡野防災会
結 成 年 月 日	平成9年12月19日
世 帯 数	932世帯
地 域 の 特 性	平成5年頃から住宅開発が進み、世帯数は10年前の1.5倍となり、現在でも増加傾向にある地域である。
活 動 の 内 容	○各部を編成して活動 (情報部、消火部、救出部、避難誘導部、給食部、給水部) ○消火器取扱い訓練
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	自治会組織としての行事が多く、自主防災組織としての活動が行いにくい状況である。
今 後 の 活 動 目 標	引き続き、消火器取扱い訓練を実施する予定である。

市 町 名	氷上町
担当部局名	住民課住民係 担当者名 川崎 Tel. 0795-82-1001
自主防災組織名	東地区自主防災会
結成年月日	平成9年12月1日
世帯数	1,242世帯
地域の特性	地形的にも珍しい分水界を有する地区で、日本海と瀬戸内海の文化の接点であり、交通の要所として栄えてきた。近年は、工業団地の誘致等人口増加が進んでいる。また、自主防災組織づくりによって、認識を新たに災害予防に取り組んでいる。
活動の内容	○林野火災総合訓練 ○学校児童の避難訓練 ○起震車体験 ○防災ヘリからの情報訓練 ○パケツリレーによる消火訓練
苦勞・成功のポイント	総合訓練については、打合せ等会合を重ねた。学校、各団体との打合せは、特に綿密に行った。
今後の活動目標	本年中に、各区長による組織づくりを実施する（文書による組織表、要綱作成）。

市 町 名	青垣町
担当部局名	住民課生活環境係 担当者名 芦田 Tel 0795-87-1001
自主防災組織名	青垣町自主防災組織
結成年月日	平成9年3月1日
世帯数	
地域の特性	
活動の内容	<p>町内すべての自主防災組織を対象に防災訓練を実施している。</p> <p>○青垣町総合防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・起震車による大規模地震の体験 ・特殊車両の見学と説明 (NTT・関西電力関係の車、救急車、消防自動車) ・消火訓練 (消火器、三角バケツの使用訓練) ・応急手当訓練 (三角巾法、搬送法) ・救出救護訓練 (ロープの結び方、震災レスキューセットの説明)
苦勞・成功のポイント	

市 町 名	春日町
担 当 部 局 名	総務企画課管財・防災係 担当者名 高見 Tel. 0795-74-0221
自主防災組織名	柚津区自主防災組織
結 成 年 月 日	平成8年4月1日
世 帯 数	76世帯
地 域 の 特 性	
活 動 の 内 容	○消火栓を使用した初期消火訓練 ○消防団との連携による実践的な訓練
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	消火栓の取扱い等について話し合うことができた。
今 後 の 活 動 目 標	

市 町 名	山南町
担当部局名	町民課防災係 担当者名 加藤 Tel 0795-77-0240
自主防災組織名	谷川1区防災組織
結成年月日	平成10年4月1日
世帯数	100世帯
地域の特性	住宅が密集した居住区域で、一部スーパーなど商店もある。また、JR加古川線、主要県道が縦貫し、交通の要衝でもある。 昭和58年9月には、当地域を流れる山田川が氾濫し、多数の民家が床上・床下浸水等の被害を受けた。その後、河川改修により被害は減少しているが、依然として被害に遭う確率が高い地域である。
活動の内容	○防災訓練 防災意識の高揚を図るとともに、各班員が実践的な技術を体得できるよう取り組んでいる。また、消防団と合同して消火訓練、水防訓練にも取り組んでいる。 ・消火訓練（消火器、消火栓等を使用した訓練） ・水防訓練（土のう積工法） ・水難救助、救急訓練（消防署員の協力による） ○防災資機材の整備 ・土のう袋、砂、スコップ、バール、つるはし 等
苦労・成功のポイント	平成11年9月に発生した集中豪雨による被害で、砂置場と土のう袋を整備したことから防災意識が高まり、住民も協力的に取り組んでいる。 県が主催するリーダー研修への参加をきっかけにして、リーダーの育成が進み、また、支援協力者が増えたことは、活動を行う上で大変効果があったと考えられる。
今後の活動目標	あらゆる災害に対し、住民だれもが対応できるよう、機会あるごとに防災訓練を行う。また、消防団、消防署、婦人会、老人会との連携を密にした取組みを通じて、団体や組織の枠を越えた仲間づくりを展開していく。

市 町 名	北淡町
担 当 部 局 名	住民生活課 担当者名 浜田 Tel. 0799-82-1144
自主防災組織名	斗ノ内浜防災会
結 成 年 月 日	平成8年12月10日
世 帯 数	220世帯
地 域 の 特 性	漁業集落を中心として、人家の密集地となっている。夜引き漁業の盛んな地域であり、夜の消防力の強化のため、昭和4年9月に浅野婦人消防隊を結成し、自主防災組織として位置づけていた。
活 動 の 内 容	○防災資機材・器具の点検 ○炊き出し訓練 毎年行われる秋祭りの際に、婦人会・子ども会役員により実施 ○消火器取扱い訓練、消火訓練 地元小学校の体育祭に、淡路広域消防事務組合署員と連携して実施
苦 労 ・ 成 功 の ポ イ ン ト	毎年、改選等で役員が代わる。また、消防団及び消防団OBが多いため、防災活動を任せることが多い。
今後の活動目標	活動が地元消防団及び婦人消防隊が中心となっているため、今後、役割分担等を明確化し、防災訓練を実施していきたい。

市 町 名	東浦町
担当部局名	住民生活課消防・防災係 担当者名 宮前 TEL 0799-74-4101
自主防災組織名	下田自主防災会
結成年月日	平成8年11月5日
世帯数	133世帯
地域の特性	漁業地帯と農村地帯を有し、一戸建ての住宅が密集している。一部に、町が開発した住宅地域もある。
活動の内容	<p>○消火栓からの放水訓練 組織的な防災活動の必要性の啓発と、実践的な消火栓活用技術の習得のため、年1回、地元消防団の指導により実施</p> <p>○総合防災訓練 実践的な活動体制の強化を図るために実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・消火訓練 ・炊き出し訓練 等
苦勞・成功のポイント	<p>以前から町内会で自衛消防隊を編成しているほど、町内会全体の防災意識は高く、その組織を核として、自主防災会を結成したので、スムーズにできた。</p> <p>また、平成12年3月に下津団地で雑草が燃える火災が発生した際に、女性が中心となって消火栓からホースを伸ばし、広域消防が現場に到着したときには、すでに消火が始まっており、火はまもなく消し止められた。</p>
今後の活動目標	<p>地域の担い手の高齢化は否めないところであり、今後、若者の参加しやすい受け皿づくりを進める。</p> <p>昼間の時間帯には、どうしても男性が少なく、女性の活動に期待する部分が多いので、女性が積極的に参加できる防災訓練を実施する。</p>

この活動事例集は、平成12年6月から7月にかけて、県内各市町の自主防災組織担当課を通じて実施した調査の結果を安全・安心コミュニティ推進室でとりまとめたものです。

兵庫県企画管理部防災局消防課 安全・安心コミュニティ推進室

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL (078) 362-9831

FAX (078) 362-9914



12企T2-143A4